

2012年03月23日 日本経済新聞

慢性腎臓病「CKD」の啓発

自治医大が動画配信

自治医科大学（栃木県下野市）の腎臓内科は「CKD」と呼ばれる慢性腎臓病の認知度を高めるため、インターネット上で見られる啓発用動画を作成した。同科によると日本でのCKD推定患者数は約1330万人で、予め、インターネット上で備軍を含めると2000

万人に上るという。放置すると心臓病や脳卒中につながるため、病気の内容について詳しく知ってもらいたい、早期の治療を呼びかける狙いだ。

動画は共有サイト「ユーチューブ」上に配信。

腎臓内科の安藤康宏教授を中心を作成した。CKDとは何かを簡潔に説明する80秒の入門編、詳し

く内容を紹介した11分の解説編の2本を用意している。同教授は「CKDはほとんど認知されていない。動画を生活習慣の見直しや健康管理に役立ててほしい」と話している。